

琵琶湖定点定期観測結果速報(令和元年12月)

数値は速報値であり、確定値ではありませんので、ご注意ください。

調査年月日 令和元年12月9日

調査地点 彦根市～高島市安曇川町に至る5地点
(ただし、湖岸水温は彦根市八坂町
滋賀県水産試験場地先における測定値)



調査地点図

調査結果

平均値 … 5地点の平均値

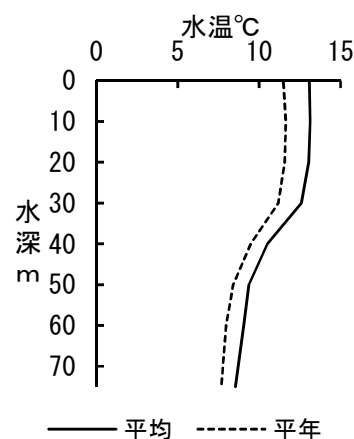
平年値 … 透明度、湖水温、湖岸水温、プランクトン沈殿量は1981年～2010年(昭和56年～平成22年)の同時期調査の平均値

DO(溶存酸素濃度)は2009年～2018年(平成21年～平成30年)の同時期調査の平均値

1. 透明度 12月平均値 6.5m 平年値 7.4m

2. 湖水温 (°C)

水深(m)	12月平均値	平年値	平年差
			(平均値-平年値)
0.5	13.1	11.5	+1.6
10	13.1	11.6	+1.5
20	13.1	11.6	+1.5
30	12.6	11.2	+1.4
40	10.5	9.5	+1.0
50	9.4	8.4	+1.0
60	9.0	8.0	+1.0
75	8.5	7.7	+0.8



3. 湖岸水温 (°C)

月(旬)	平均値	平年値	平年差
			(平均値-平年値)
11月下旬	14.5	13.3	+1.2
12月上旬	12.7	11.8	+0.9
12月中旬	11.7	10.4	+1.3

4. プランクトン沈殿量 (ml/m³)

水層 (m)	12月平均値	平年値	平年差
			(平均値-平年値)
0~10	4.8	8.1	-3.3
10~20	2.6	2.8	-0.2
20~40	2.1	2.0	+0.1
40~75	0.6	0.7	-0.1

(プランクトンネットNXX14使用)

5. 表層のプランクトン優占種

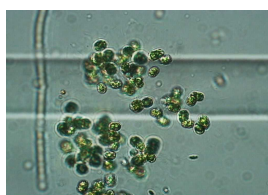
○プランクトンネットNXX14による採集 (植物:未固定 動物:5%中性ホルマリン固定)

植物プランクトンについては、地点1、4、5で*Aulacoseira granulata* (アウラコセイラ グラヌラータ:珪藻)が、地点2、3で*Cosmocladium constrictum* (コスモクラディウム:緑藻)がそれぞれ細胞数で最も多く確認された。

動物プランクトンについては、全地点で*Raphidiophrys sp.* (ラフィディオフリス属:太陽虫類)の個数が最も多く確認された。



Aulacoseira granulata



Cosmocladium constrictum



Raphidiophrys sp.

6. DO (溶存酸素濃度 : mg/l)

水深 (m)	12月平均値		平年値		平年差	
	DO	(酸素飽和度%)	DO	(酸素飽和度%)	DO	(酸素飽和度%)
0.5	10.04	(98.6)	10.19	(97.8)	-0.15	(+0.8)
10	9.89	(97.2)	10.06	(97.0)	-0.17	(+0.2)
20	9.83	(96.7)	9.98	(96.1)	-0.15	(+0.6)
30	9.05	(88.0)	9.62	(92.3)	-0.57	(-4.3)
75	2.95	(26.1)	4.65	(40.3)	-1.70	(-14.2)